統括本部だより

しものせき

市長、JAと活発な意見交換

ＪＡ山口県下関青壮年部

JA山口県下関青壮年部は２月10日、下関市長やJA役職員と意見交換会を開きました。青壮年部員、JA役職員、行政など34人が参加し、下関市の農業振興や農業政策について活発な意見を交わしました。

青壮年部からは市やJAに対して、後継者対策や鳥獣被害対策、水稲高温耐性品種の拡大などの意見が出されました。

同青壮年部の森本秀信部長は「市長やJAと直接意見交換ができ、貴重な機会だった」と話しました。

同市の前田晋太郎市長は「青壮年部の農業への思いを形にしていく」と応えました。

▲下関市の農業を盛り上げていきます。

品質向上目指し視察研修

下関花き部会

下関花き部会は2月20日、花のハウス栽培が盛んな六連島で、オリジナルユリやリンドウを栽培する大岩康久さんと植村恵介さんのほ場を視察しました。

水管理や植え付け時期など栽培方法について情報交換をしました。

野村英史部会長は「視察研修を活かして品質の良い花を届けたい」と話しました。

▲ガーベラのほ場を視察する参加者

伝統を守る 吉母特産「寒干しダイコン出荷」

吉母寒干組合

吉母地区特産の「寒干し大根」の出荷が始まりました。

吉母寒干組合の河内宏文組合長は旧JA吉母支所で、色の白さや傷の有無を１本ずつ確かめ、等級別にそろえて関西の業者へ出荷しました。

河内さんは「気温や湿度、風や霜などの影響を受けやすく、管理が大変で手間がかかるが、吉母の伝統を受け継ぎたい」と話しました。

▲品質を確認する河内宏文さん

農繁期に向けて 最新農機を展示

農機センター

下関統括本部は２月20日、21日の２日間、農機展示相談会を開催しました。

会場の菊川農機センターには、２日間で528人が訪れました。

展示会では、10社の農業関連メーカーが出展し、農業の効率化や省力化につながる多くの機種が並びました。来場者は機械を実際に確かめながら、担当者の説明を熱心に聞きました。

▲大勢の来場者で賑わいました。

活き活き生涯ええ農塾

塾生20人が過程修了

下関統括本部は２月21日、初心者向けの営農講座「活き活き生涯ええ農塾」の閉講式を開きました。第24期は20人の塾生が修了しました。

１年間12回の講座では座学と現地実習を組み合わせ、野菜の栽培管理について学びました。

塾生は「１年間学んだ技術や知識を活かし、色々な野菜作りにチャレンジしたい」と話し、野菜作りに意欲を見せました。

▲営農講座を修了した第24期生

今月の女性部活動

2/3 ▼フレッシュミズ部会
子育て支援活動「節分」

子育て世帯の親子22人が参加し、
鬼退治ゲームや工作、
オカリナ演奏を楽しみました。

2/5 ▼ハートフルカレッジ
豆腐作り＆ライフプランセミナー

13期生６人が豆腐作りに挑戦しました。
手作りならではの大豆の風味が豊かな
豆腐が出来ました。

2/10 ▼女子力UP講座
ピザ作り教室

豊浦ブロックの中林義枝さんと大岡邦子さんを講師に
生徒11人がピザ作りをしました。和やかな雰囲気の
中でおいしいピザが出来ました。

2/27 ▼豊浦ブロック女性部
役員研修会

家の光を活用した「手ぬぐいキャップ」を
作りました。
頭と指先の体操になりました！

2/27 ▼豊北ブロック女性部
支部長研修会

エーコープ商品を使って
どら焼きと蒸しパンを作りました！

2/28 ▼菊川ブロック女性部
目的別グループ展示発表会

陶芸や絵手紙、手芸など多くの作品が
展示・販売されました。
カレーライスやぜんざいも振る舞われました！

4月のスケジュール

11日　ＪＡ山口県下関統括本部
　　女性部通常総代会
18日　活き活き生涯営農塾
1日～19日　ＪＡ春のいちご狩り祭り
　　(アンパンマンこどもくらぶ
　　会員様ご家族限定)

イベント情報や旬の情報をお届けします！
LINE 公式アカウント
JA 山口県農産物直売所
いただきま～と
友達募集中！
ラインアプリ内の友達から
「QRコード」を読み取って追加下さい！
毎週（月･木曜日）に、旬の情報を配信します

アパート探しは
JAアパートへ
新下関近郊
おススメ物件あります！
山口県知事免許（1）第3661号
〒751-0876　山口県下関市秋根北町4-1
山口県農業協同組合　ＪＡアパート
TEL：083-256-2262　FAX：083-256-2269
定休日：水･日曜日　祝祭日・盆・正月
■取引態様：媒介